	引出多类	門学校	開講年度	令和03年度 (2	2021年度)	授業	科目 1	インター	ンシップ		
科目基礎		,,,,,,,	1/13213 1 /2			3221					
科目番号		0072			科目区分	車	専門 / 選択				
授業形態		演習			単位の種別と単位						
開設学科		電子情報	 丁学科		対象学年	4					
開設期		前期		週時間数		4					
教科書/教	タネオ	133743	122. 31232								
担当教員		阿蘇 司									
到達目		ריי איייניאן									
			3-10 + 7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	+ 吉明/		47)+1					
美質元で 企業など 企業ある	ラスられた における将 いは技術者	テーマに対し 来のキャリア ・研究者が持	, これまでに修得し イメージを具体的に つべき仕事への責任	ンに専門に関する知 こ持つことができる £を知る.	i畝13技術を用いて思い。	件次でされ	ခ.				
ルーブ	リック										
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安未		未到達レ	到達レベルの目安			
評価項目1			キャリアイメー の能力を結び付 チングを考える。	ジをもとに,自身 けて仕事とのマッ ことができる	企業などにおける将来のキャリア イメージを持てる			企業などにおける将来へのキャリ アイメージが持てない			
評価項目2			1	観的に評価し、高	自身の能力についきる	自身の能力について自己評価ができる			自身の能力について自己評価ができない		
評価項目3			企業あるいは技行 つべき仕事への 説明できる	企業あるいは技術 つべき仕事への責 ができる	つべき仕事への責任を考えること 1:			企業あるいは技術者・研究者が持 つべき仕事への責任について考え ることができない			
学科の	到達目標耳	項目との関	係								
JABEE B											
教育方法	 法等										
概要	24()	校外での	実習を通して,技術	が者の実務, 企業人	 .として活躍するた&	めに自身に	こ必要な能	力,企業(こおける社会	的責任を学	
授業の進	め方・方法	インター	ンシップのしおりに	 従い, 実習機関を	 選び,校外での5日	から10E	日以上の実施	習を行い,	実習終了後	に報告書の扱	
以来の進	۵/۱۲ - ۱۱/۱۵	出と実習	報告についての口頭	預発表を行う.							
注意点		・実習期 ・体調不 ・報告書	間中は実習先の関係 良等により、やむを を作成し、実習責任	系者に敬意を払うと を得ず休む場合には E者の検印を受ける	ともに,礼節に気を 必ず実習先の実習 こと	をつけるる 責任者へ返	こと 連絡するこ	۲			
话様ろ	全州,屋/	タトの区ム									
コヌ未りり	14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	じ上いたガ	•								
		<u> </u>			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	-		□ 実務紹	経験のある教育	量による授業	
	<u> 禹任・/優1</u> ティブラー:		□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	<u>, </u>		☑ 実務経	経験のある教験	員による授業	
□ アクラ	ティブラーニ				□ 遠隔授業対応	<u>.</u>		☑ 実務紹	経験のある教員	員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	ニング	□ ICT 利用					☑ 実務経	経験のある教員	員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	三ング	□ ICT 利用 授業内容	ナの調本		週ごとの	到達目標			員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	ニング 週 1週	□ ICT 利用授業内容インターンシップを			週 <i>ごと</i> の 実習先に	到達目標 ついて理解	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	ニング 週 1週 2週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップダ インターンシップダ			週ごとの 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	ル 週 1週 2週 3週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップダ インターンシップダ 事前研修			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解 よる	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アク:	ティブラーニ	週 1週 2週 3週 4週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ 事前研修 事前研修			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解 よる よる	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アク:	ディブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップダインターンシップダ 事前研修 事前研修 事前研修			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解 よる よる よる	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アクラ	ディブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップを す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解 よる よる よる よる	4し説明で	きる。	員による授業	
□ アク:	ディブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すか研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 ついて理解 よる よる よる よる よる	₹し説明で ¥し説明で	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ オンターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる よる よる	経し説明で 経し説明で	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すインターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる よる よる ーマによる	军し説明で 军し説明で S	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる よる ーマによる ーマによる	¥し説明で ¥し説明で 5 5	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すインターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる よる よる ーマによる	¥し説明で ¥し説明で 5 5	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習先テテ	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる よる ーマによる ーマによる	军し説明で 軍し説明で 3 3 3 3	きる。	員による授業	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すか研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習			週ごとの 実習先に 実習先に 実習先に 実習先に 実習発生に 実習とに 実習と 実習と 実習と 実習と 実習と 実習と まごと 実習を まごと まごと まごと まごと まごと まごと まごと まごと まごと まごと	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマによる ーマによる ーマによる	和 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	きる。		
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プート作成 プレゼン資料作成			週実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実とのににににいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマにによる ーマにによる ーマを報プレゼ	取し説明で 取し説明で な る る る る る る る る る る る る る る と と し て と し て ま し て ま と し て ま と し て ま え と し て ま え と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	きる。 きる。 とめることか してまとめる	^{べできる}	
□ アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 実習 実習 大ポート作成			週実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実とのににににいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマにによる ーマにによる ーマを報プレゼ	取し説明で 取し説明で な る る る る る る る る る る る る る る と と し て と し て ま し て ま と し て ま と し て ま え と し て ま え と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	きる。 きる。 とめることか	^べ できる	
□ アクラ 授業計i	画 1stQ 2ndQ	世 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プート作成 プレゼン資料作成 発表会	七の調査		週実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実とのににににいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマにによる ーマにによる ーマを報プレゼ	取し説明で 取し説明で な る る る る る る る る る る る る る る と と し て と し て ま し て ま と し て ま と し て ま え と し て ま え と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	きる。 きる。 とめることか してまとめる	^べ できる	
□ アクラ 授業計i	画 1stQ 2ndQ	世 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プート作成 プレゼン資料作成	七の調査		週実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実とのににににいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマにによる ーマにによる ーマを報プレゼ	取し説明で 取し説明で な る る る る る る る る る る る る る る と と し て と し て ま し て ま と し て ま と し て ま え と し て ま え と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	きる。 きる。 とめることか してまとめる	^べ できる	
□ アクラ	画 1stQ 2ndQ	世 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プート作成 プレゼン資料作成 発表会	七の調査		週実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実実とのににににいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 よる よる よる よる ーマにによる ーマにによる ーマを報プレゼ	取し説明で 取し説明で な る る る る る る る る る る る る る る と と し て と し て ま し て ま と し て ま と し て ま え と し て ま え と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	きる。 きる。 とめることか してまとめる	^べ できる	
□ <i>アク</i> : 授業計i 前期	画 1stQ 2ndQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プレゼン資料作成 発表会 学習内容と到達	たの調査 三目標 学習内容の到達目され 社会の一員として る。	標、自らの行動、発言	週実実実実実実実実実実実実実の実践とのににににににている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	到達目標 ついて理解 して なんしょ よく よく スターママ ににに 報 プーママを 発表 して るる と なん まん と	程し説明で 経し説明で 3 3 3 5 6 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	きる。 きる。 さることか してまとめる ことができる 到達レベル 3	できる うことができ が 授業週 前3	
□ <i>アク</i> : 授業計i 前期	画 1stQ 2ndQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ す前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 実習 実習 実習 実習 大プレゼン資料作成 発表会 学習内容と到達	もの調査目標学習内容の到達目社会の一員としてる。チームで協調・共	標、自らの行動、発言	週実実実実実実実実実実実実実の実のにににににににている。 でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	到達目標 ついて理解 して はな よ よ よ よ ママ に に に に に な ま と ま と ま と ま と ま と ま と ま と ま と ま と ま	ばい説明で はい説明で はい説明で はいてま はいてま はいでき はいでき る。	きる。 きる。 さることか してまとめる ことができる	できることができ	
□ <i>アク</i> : 授業計i 前期	画 1stQ 2ndQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すっかの 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前で 実習 実習 実習 実習 大ポート作成 プレゼン資料作成 発表会 学習内容	たの調査 目標 学習内容の到達目 社会の一員として る。 チームで協調・共 チーハで協調・共	標、自らの行動、発言	週実実実実実実実実実実実実実実の実のにににににににたります。 効感感のの のののののののののののののののののののののののののののののののの	到達目標 ついて まな よよ カーーー ママママママ なる るる るる でにににに報 プータをを を 認識 して ローーー 表し で で 変 を で で で で で で で で で で で で で で で で	ない説明で はい説明で はい説明で はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい。 はいい	きる。 きる。 きる。 とめることか してまとめる ことができる 到達レベル 3 3	できる うことができ う 授業週 前3	
□ アクラ 授業計i ・ デルラ 分類	画 1stQ 2ndQ	3週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 十ユラムの 分野 まらの 態度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ インターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前で 実習 実習 実習 実習 大ポート作成 プレゼン資料作成 発表会 学習内容	たの調査 目標 学習内容の到達目 社会の一員として る。 チームで協調・共 者の意見を尊重する。	標 、自らの行動、発言 同することの意義・ 同するために自身の	週実実実実実実実実実実実実実の実のににににににてテラテテク内 内閣を記述している。 かい	到達目標 ついよよよよ よよ ーーーー 容容 容 容 認識 して口る るるる こにににて報 プ 発表 し て口る はいとと かんしん アース でんしん アース	程し説明で 程し説明で 3.5 5.5 6.5 6.5 7.5 8.5 7.5 8.5 7.5 8.5 8.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9.5 9	きる。 きる。 きる。 とめることか してまとめる ことができる 到達レベル 3 3	できる うことができ う 授業週 前3	
ファクラ 授業計i ・デカ が野横断	画 1stQ 2ndQ	3週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 十ユラムの 分野 まらの 態度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すインターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前で 実習 実習 実習 実習 大ポート作成 プレゼン 発表会 学習内容 志向	たの調査 目標 学習内容の到達目 社会の一員としてる。 チームで協調・共 その意見を尊重する。 当事者意識をもっ	標 自らの行動、発言 同することの意義・同することの意義・	週実実実実実実実実実実実実実の実のにににににににたったのののののという。 効感・研究を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を表生を	到達目標のついるよよよ ーーーー 一容容容容容を認識したといる。 ここと かんしょう こと はんしょう こと きんしょう こと きんしょう こと きんしょう しんしょう こと きんしょう しんしょう という こと きんしん こく という こく といり しんしん こく という しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん はんしん しんしん はんしん しんしん はんしん しんしん はんしん しんしん はんしん はん	群し説明で 群し説明で 365 365 365 365 365 365 365 365	きる。 きる。 きる。 してまとめる ことができる 到達レベル 3 3	できる ることができ る 類業週 前3 前3	
ファクラ 授業計i ・デカ が野横断	画 1stQ 2ndQ	3週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 十ユラムの 分野 まらの 態度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ICT 利用 授業内容 インターンシップ すインターンシップ 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前研修 事前で 実習 実習 実習 実習 大ポート作成 プレゼン 発表会 学習内容 志向	たの調査 目標 学習内容の到達目 社会の一員としてる。 チームで協調・共 その意見を尊重する。 当事者意識をもっ。 チームのメンバー	標 標 、自らの行動、発言 同することの意義・ 同するために自身の るためのコミュニケ てチームでの作業・	週実実実実実実実実実実実実実の実 ・ので ・ 屋のににににににてテテテテク内 内 割 をきった った たんしん かんしん まん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	到達目標のつよよよよよーーーー容容容容を認識したとるでは、これは、というできません。 これにはいい できる できる でき いっこう という かいこう という かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	群し説明で 群し説明で 365 365 365 365 365 365 365 365	きる。 きる。 きる。 とめることか してまとめる ことができる 3 3 3	できる ことができ う 一 が う 前 3 前 3 前 4	

			リーダーシップを昇 での相談が必要であ	発揮する(させる)た あることを知ってい	めには情報収集や)る	チーム内	3	前8
			法令やルールを遵守	守した行動をとれる	5.		3	前9
			他者のおかれている	る状況に配慮した行	動がとれる。		3	前9
			技術が社会や自然に 負っている責任を考			が社会に	3	前10
			自身の将来のありた	こい姿(キャリアデ	ザイン)を明確化で	きる。	3	前10
			その時々で自らの助 くために現状で必要				3	前11
			キャリアの実現に向 識している。	可かって卒業後も総	*続的に学習する必	要性を認	3	前11
			これからのキャリア 難に直面したとき <i>の</i> きことを多面的に¥	D対処のありかた(<i>-</i>	一人で悩まない、仮	職し、困 憂先すべ	3	前12
			高専で学んだ専門分 ように活用・応用さ	う野・一般科目の知 されるかを説明でき	□識が、企業や大学 きる。	等でどの	3	前12
		I	企業等における技術				3	前13
			企業人としての責任 ることができる。	£ある仕事を進める	るための基本的な行	動を上げ	3	前13
			企業における福利!! の進路としての企業	厚生面や社員の価値 業を判断することの	i観など多様な要素)重要性を認識して	から自己	3	前13
		<u></u>	企業には社会的責任	£があることを認諳	哉している。		3	前13
			企業が国内外で他社 るか説明できる。	±(他者)とどのよう	がは関係性の中で活	動してい	3	前13
			調査、インターンジ の抱える課題を説明		穿を通して地域社会	・産業界	3	前13
			企業活動には品質、 ことを認識している		対期などの視点が重	要である	3	前13
			社会人も継続的に反 している。		が求められているこ	とを認識	3	前13
			技術者として、幅位とされることを認識		解決力、社会貢献な	どが必要	3	前13
			技術者が知恵や感性 を行った事例を挙げ	井、チャレンジ精神	申などを駆使して実	践な活動	3	前13
	高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。				かように	3	前14	
					3	前14		
	コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。					3	前14	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	t
総合評価割合	0	30	0	50	20	0	10	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	30	0	50	20	0	10	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	